

創造

JA いけだ
CREATION

今月号の表紙写真は川合地区で撮影した、小麦収穫の様子です。当JA管内では7月24日（月）から収穫が始まり、8月6日（日）をもちまして無事終了致しました。生産者の皆様お疲れ様でした。



CONTENTS

- ※ JA十勝地区女性協議会
道外視察研修
- ※ 第3回みのり塾
- ※ こだま会一日研修
- ※ コンプライアンス研修会開催
- ※ 21NEWS アラカルト

- ※ シリーズ
協同組合と報徳
- ※ 退職のご挨拶
- ※ 各部署職員紹介
- ※ JAグループ通信
- ※ 金融共済課より

- ※ 営農部通信
- ※ 畜産部通信
- ※ 未来人
- ※ 新入職員紹介
- ※ 理事会の動き
- ※ 編集後記

2017.

9
SEPTEMBER

No.093

J A 全中講師による研修の様子



研修ではJA支援部青年女性対策室の三宅哲平氏と、審査役の篠崎豊氏のお二人から貴重なお話を頂きました。女性組織

1日目はまず、大手町にあるJA全中を訪問し、役員室のある37階に案内して頂きました。そこからは皇居や武道館を見下ろせる素晴らしい景観が広がっていました。

への期待ということで、女性部の活動を通して感じたJAの良さや、農業の大切さをどんどん地域に発信して、JAの応援団を増やして欲しいと話されていました。その為にも女性の皆さんが新しい事に挑戦する事が大切です。一人では踏み出せなくても仲間となら踏み出せるはずですから、学習を通じて自らを成長させて欲しいとの事でした。

また、「JA健康寿命百歳プロジェクト」というものがあることも聞きました。その中には、誰でも取り組める介護予防運動があり、これは是非私たちの活動にも取り入れたいと思います。

た。その後は、浅草演芸ホールで落語を鑑賞しました。

2日目は、スカイツリーに登り街並を見下ろした後、鎌倉に移動をして昭和3年にオープンしたという、通称レンバイ（鎌倉市農協連即売所）を見てきました。日本初の本物マルシェとも言われ、都内の一流シェフも仕入れに訪れるという、トマト・小松菜・ほうれん草等、季節ごとに獲れたての旬野菜が揃う市場でした。市内を観光し、湘南の海を眺めながら箱根のホテルへ行きました。

そして3日目、箱根駅伝のコースをバスで移動し、静岡裾野市にある国内最大規模のヤクルト本社工場を見学、徹底した品質管理や

リサイクル品の説明を受けました。東名高速蛸名SAで休憩をとり、羽田空港へ。

3日間にわたり、他町村の女性部長さんとの交流や情報交換等もでき、とても貴重な体験が出来たこと、本当にありがとうございました。これからの女性部の活動に役立てていきたいと思っています。

このたび7月12日(水)～14日(金)にかけて、JA十勝地区女性協議会の道外視察研修に参加させて頂きましたので、ご報告させていただきます。

平成29年度

JA十勝地区女性協議会 道外視察研修 (東京・神奈川・静岡)

女性部 部長 林

真弓

ヤクルト本社工場前での集合写真



第3回

みのり塾

7月19日（水）に十勝農業改良普及センター十勝東部支所にて、第3回みのり塾が開催されました。今回のみのり塾は十勝東部地区農業改良推進協議会主催の「ヤングファーマーズ講座」の研修に参加させて頂き、当農協から6名の塾生が受講しました。

〈研修内容〉

講座内容	講師
「十勝の気象と農業について」	帯広測候所 予報官 山田 修 氏
「雑草防除の基礎」(畑作)	普及センター 高田主査
「繁殖・草地・飼料について」(畜産)	普及センター 三宅専普



受講の様子



帯広測候所 予報官 山田 修 氏

第3回 みのり塾を終えて

東台地区 梅村 信輔 さん

7月19日（水）に第3回みのり塾が行われ、前回同様にヤングファーマーズ講座を受講しました。講義内容は「十勝の気象と農業について」、「雑草防除の基礎」についてでした。「十勝の農業と気象について」は、帯広測候所の山田予報官が来て下さり、天気予報の現状や、去年の台風がなぜ3回も北海道に上陸したのかを説明して下さいました。中でも印象に残っているのが、去年の台風による大雨の影響で十勝地方の8月の降水量が平年の2倍となり、さらに1年間で降る量の約半分の量が8月だけで降ったと言うことを聞いてとても驚きました。その他にも私たちの質問に対して山田予報官がとてもわかりやすく丁寧に答えて下さいました。

もう一つの講義の「雑草防除の基礎」では、よく見かける雑草の特徴や対応策、除草剤についてなど、知識のない私には貴重なお話ばかりでした。

今回の2つの講義は普段なかなか聞けない話でしたので、とてもためになりました。次回も出席して農業の知識を高めて行きたいと思っています。

今後の予定

- 1月 新規就農者研修（JAカレッジ）
技能研修（農業大学校）
- 2月 基礎知識講座・オリエンテーション
閉講式（JA十勝池田町）

こだま会一日研修

池田町内を研修

7月24日（月）に会員10名の参加にて、こだま会一日研修を開催しました。

今回は池田町内を研修しましたが、「何十年も池田町に住んでいて、行ったことのないところばかり」「灯台もと暗しだから町内を回ってみたいね」という声が上がったので企画をしました。

最初は美加登にある、うめ～るセンターを見学しました。広さは十勝オーバルスケート場の約1.6倍で25mプールが470杯も入る程の容量を持っています。町内のゴミは直接ここに運ばれてくるのではなく、くりりんセンターに一度運ばれて、燃えるごみは燃やして灰に、燃えないゴミは砕いて小さくしてから最終処分場のうめ～るセンターに運ばれてきます。運ばれたゴミを埋めるのに1層で3mずつ埋め上がっていきます。埋めた灰やゴミに散水システムを使って、スプレーガンで水を撒いて洗います。使った水は集水ピットに集められ逆浸透膜装置で汚れた水とキレイな水に分けられ、キレイな水はまた散水用として繰り返し使われていました。ゴミが捨てられていた中にはベッドなど大きな物も捨ててあり、スプリングが入っているので焼却できないものもありました。色んなゴミを目の当たりにし、物を無駄にしないよう大切に使うっていいと思いました。

次に池田町郷土資料館に向かい、農機具や生活用品を見て「これ使っていた」「家にまだある」など懐かしんでいました。中にはご主人が寄贈した物や、消防団の団長を務めていたご主人の名札が飾られているものもありました。

昼食はワイン城のレストランでハンバーグと食べ放題buffetを堪能し、午後からも研修に励みました。

池田町大規模草地育成牧場で施設見学と概要の説明をしてもらいました。昭和55年から預託を開始し、乳牛1210頭・肉牛760頭を生産者から預りました。冬は乳牛100頭・肉牛200頭を管理していましたが、平成7年に冬の預託を終了し、現在では夏期のみ（5月～11月上旬）の預託で今年は31戸、乳牛121頭・肉牛263頭・馬7頭を管理しています。56牧区に分かれている牛全頭を朝から職員全6名で見回り、治療しなければいけない牛や発情を発見し授精できる牛の確認をし終わったらNOSAに連絡して午後から来てもらうという流れで毎日作業を行っています。

牧場見学させてもらった後は、十勝川資料館を見学。北海道で一番大きいのが石狩川流域、次いで二番目に十勝川流域が大きな流域となっています。昨年の台風の影響で増水した河川の推移を減



うめ～るセンターで説明を受けている様子

らすために川掘削といって、川幅を広げてより多くの水を流すために土を掘り上げる作業を行なっているそうで、芽室から豊頃までトラックが行き来していると説明を受けました。

参加したみなさんは、「近くに住んでいてもなかなか行く機会がないので、町内を研修出来て良かった」と話し、とても良い研修となりました。（記事・営農課 豊原英梨）

コンプライアンス研修会開催

～コンプライアンスは職場環境の改善から～

講師 北海道農業協同組合学校 専任講師 山 根 丈

7月13日（木）農協大会議室において、コンプライアンス研修を全職員対象に午後、業務終了後の2回開催致しました。

一人の職員がコンプライアンス違反をした場合、例えそれが故意ではなく不注意からおきてしまったことでも、JAの「信頼」を損ねる「JAの不祥事」に該当してしまい、その当事者の人生さえも台無しにしてしまう可能性があるため、全職員が理解・実践されなければなりません。

今回の研修は、コンプライアンス（職場環境の改善）に向けて、法令や社会規範を守らせる時代から、個々の人づくりによる組織全体の改善を図るために、働きやすい職場環境作りと、コミュニケーションの向上について北海道農業協同組合学校から専任講師の山根丈氏を招いて研修を行いました。

研修では、不祥事は「機会」「動機」「正当化」の3つの不正リスクがすべてそろった時に発生すると考えられている。動機、機会は誰でも持っているが、正当化は周りが防ぐ事が出来る。「困っていることを職場で相談」することにより他の解決策を見出し、不正行為を未然に防止することが可能となる。上司や同僚に相談して問題を解決することができれば不正を犯す動機が生じない。一人で抱え込んでしまうと不正の動機が生ずることになる。

また、職場での良好なコミュニケーションは、仕事の目的や目標の共有、問題解決、不正に対してお互いが注意し合うことができ、コンプライアンスを守れる職場環境が生まれるということ、を、職員一人ひとりが考える研修となりました。

不祥事未然防止の為の「風通しの良い職場づくり」には、相談しやすい環境と信頼作りの土台となる、コミュニケーション能力が重要であることの再認識をいたしました。

（記事・管理部長 花本 敦）



研修の様子

道東ライス工場内で説明を受けている様子



食品加工サークル

食品加工サークル ～幕別から池田まで時計回りに～

7月20日（木）に会員10名の参加にて食品加工サークル視察研修を開催しました。

研修先は幕別の道東ライスで、従業員数はおよそ100人おり、24時間稼働ではないですが2部交代制で稼働をしていました。

Aコープ利別店でも道東ライスから仕入れをしており、お寿司のシャリ玉や助六、お弁当のご飯に活用されています。

道東ライスでは、炊飯部門の他に精肉や鮮魚、惣菜や仕出し弁当の製造も行っており、ハピオ木野店や道東圏のフクハラ45店舗に販売提供を行っております。

昼食は鹿追に場所を移し、ロードハウスネストでピザやサラダ、スモークサーモンやフライドポテトなど、みんなで楽しく取り分けながらおいしくいただきました。

その後は、土幌の道の駅でお買い物をし、池田町郷土資料館で展示されている農機具やレトロな品を見て「これほしいなあ」と羨む場面もありました。参加された皆さんお疲れ様でした。

（記事・営農課 豊原英梨）

年金友の会

年金友の会 パークゴルフ大会開催

年金友の会（会長神谷充雄さん）は、8月25日清見パークゴルフ場において第41回パークゴルフ大会を開催いたしました。当日は、やや強い風が吹き、最高気温が30度を超えるというパークゴルフを行うにはやや厳しい天候条件ではありましたが、参加者の皆さんは水分補給を行いながら、気温にも負けないくらいの熱いプレーを行っていました。

競技終了後、表彰式を行いお互いの健闘を称え合いました。暑い中参加された皆様、大変お疲れ様でした。

成績は以下の通りです

【男性の部】 優勝＝石川 剛さん 準優勝＝横田 保則さん 第3位＝神谷 隆之さん

【女性の部】 優勝＝北村恵美子さん 準優勝＝吉田 繁子さん 第3位＝横田 規子さん

また、今大会で小南正弘さん、横田規子さん、佐藤裕彦さんの3名の方が見事ホールインワンを達成されました。

（記事・営農課 高山信雄）

入賞者の皆さん





消火訓練の様子

管 理 部

「いざという時、大切な命を守れ！」 ～Aコープで火災避難訓練～

8月4日（金）Aコープ利別店において、防火意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練及び消火訓練を実施致しました。

訓練内容としては、火災発生を想定し、火災報知機発報から、火災発生確認、初期消火、消防・防火管理者への通報、お客様と職員の屋外避難までの一連の訓練を行いました。また、営業時間前の訓練でしたので、他部署の職員を店舗内でお買い物をするお客様と想定して、避難誘導も取り入れながらの訓練を行いました。

避難訓練終了後には、池田消防署の藤田氏より今回の訓練に対する指導が行われ、「火災発生の時には、初期消火・通報・避難誘導の3つが大切になる。今回の訓練のように落ち着いた避難行動を行って欲しい」とお話しをいただきました。

避難訓練は、実際の災害時にAコープ職員全員が避難通路やお客様の避難誘導が、自然と出来るように、身に付くまで繰り返し行う事が必要と考えております。

また、Aコープは食品・生活必需品を組合員、地域住民に供給することだけでなく、火災時には、お客様の命を守ることも、私達の大切な仕事と実感できました。

避難訓練終了後には、消化器の操作も消防署の方から指導を頂き、初期消火の訓練も行いました。

（記事・管理部長 花本 敦）

5 S 委員会

窓ガラスの清掃実施！

5 S活動のひとつである「窓ガラス清掃」を、8月19日（土）に本所・池田支所・Aコープ店舗にて実施しました。

今年で4年目となるこの活動は、組合員の皆さんや取引先の方・お客様を気持ちよくお迎えしたいという思いと、職場の環境美化の一環として職員自ら行っているものです。

当日は天候にも恵まれた中で、事業所毎に職員が分担し清掃作業を行ないました。1階の窓ガラスはもとより、今年から新たに導入した伸縮ワイパーにより、今まで清掃できなかった本所2階外側の窓も見違えるようにきれいになり、明るい日差しの元で業務が行える環境となりました。

農産センターなど、その他の事業所については後日窓ガラスの清掃を計画しております。

今後も様々な活動を継続して行い、職員一人一人が環境美化を意識した中で業務にあたり、皆さんにきれいな事務所等をご利用していただけるよう心がけていきます。

（記事・5 S委員 遠近恵子）



本所2階外側の窓も清掃！

シリーズ 協同組合と報徳

No.36

天地、親子、夫婦、
農業の道は両全の道であり、
売って喜び、買って喜ぶ道こそ
わが教えである。

(夜話 わが道は全樂の道)

一宮翁のことばに世界の
うちで法則とすべきものは、
天地の道と、親子の道と、
夫婦の道と、農業の道との
四つだ。これらの道はまこ
とに両全のもの、完全なも
のであって、全てのことば、
この四つを手本とすれば間
違いない。

天が生命の根元の徳を地
にくだされるなら、地はこ
れを受けて万物を発生させ
る。親は子を育てるのに損
得を忘れて、ひたすらその
成長を楽しみ、子は育て

られて父母を慕う。夫婦の
間でもお互いに楽しみ合っ
て子孫が相続する。農夫は
勤労して植物の繁栄を楽し
み、草木はまたよろこんで
繁茂する。みんな、ともど
もに苦情がなくて、喜びば
かりなのだ。

さてそこで、この道に従
うならば、商売のしかたは、
売って喜び買って喜びよう
にすべきだ。売って喜び買っ
て喜びないのは道ではない。
買って喜び売って喜びない
のも道ではない。また、貸

借の道も同様に、借りて喜
び貸して喜びようにするべ
きだ。借りて喜び貸して喜
ばないのは道ではないし、
貸して喜び、借りて喜びな
いのも道ではない。すべて
そうなのだ。

わが教えはこれを法とし
ている。つまり、天地が万
物を生々発展させる心を心
とし、親子と夫婦との情に
もとづいて、損得を度外に
置いて国民の潤いの拡大と
土地の復興とを楽しむので
あって、そうでなければで
きない仕事なのだ。

たとえば、無利息金貸付
の道は、元金が増加するの
を良しとせず、貸付高の増
加するのを良しとする。元
金の増加を喜ぶのは欲であっ
て、貸付高の増加を喜ぶの

が善なのだ。

私がこの法を立てたい
われは、世間で金銀を貸
した者が、催促を尽くし
てから裁判に訴え、それ
でも取れない時になって
無利息年賦とするのが通
常だが、この事態を貸さ
ないうちから予測して、
この法を立てたのだ。

なにことも、どのよう
になるのかと先を見越し
て、前もって決めておく
ことが肝心だ。人は生れ
れば必ず死ぬべきものだ。
死ぬべきものだといふこ
とを先に納得しておけば、
生きていくだけ毎日がも
うけものだ。

これがわが道の悟りな
のだ。生まれ出たからに
は、死のあることを忘れ
るでない。夜が明けたら、
暮れるということを忘れ
るでない。

(北海道報徳情報)

報徳生活読本より

退職の ご挨拶



営農部 営農課長

今井敬貴さん

(昭和60年4月1日入組)

この度、平成29年8月
31日をもって、十勝
池田町農業協同組合を退
職させて頂きました。

長い間公私にわたり色々
とお世話になりましたこ
とを、心より厚く御礼申
し上げます。

組合員皆様のご健勝を
心よりお祈り申し上げます。



各部署職員紹介

今月号より数回に分けて各部署の職員紹介を行います



営農部 営農課

5月の人事異動で新体制となりました。

営農部の業務は農政・営農改善・生活改善・教育情報・後継者育成・協同強化活動・農村環境整備支援と多岐にわたっております。今年度からは新たな取組として「みのり塾」を開講し、将来を担う若手農業者の育成にも取り組んでいます。

営農に関してご相談がございましたら、営農課まで宜しくお願いいたします。

豊原英梨 職員 杉山淳史 職員 芳賀正明 職員
高山信雄 調査役 新沼二郎 次長 竜川正之 部長 高橋 守 調査役

畜産部 畜産課

5月の人事異動で新体制となりました。

積極的に現場に出向き、「儲かる経営」へ向けた「牛づくり」「草づくり」を中心に、幅広くサポートさせていただきます。

宜しくお願いいたします。



前田実祐 職員 岩城 諒 職員
古川勇一 調査役 長井 勉 部長 米川 武 課長

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

昨年12月の「農協改革」に関する組合員向け資料に引き続き「准組合員制度」についての組合員向け資料を作成しました。

准組合員利用規制に関して、農林水産省が結論を出す期限の平成33年3月末が迫る中、准組合員利用規制が及ぼす影響を、組合員の皆さん一人ひとりが考えるきっかけとしての活用を目的としております。本資料は、准組合員制度の成り立ちや准組合員が地域を支える実態、規制改革推進会議が准組合員利用規制を迫る背景などを、平易な対話形式により表現しております。中央会のホームページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。



JA北海道信連

8月に、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジin旭川「収穫・料理教室」』をJAあさひかわの協力を受け開催しました。

大根の収穫体験、収穫した大根を使った料理教室、農業者による講演等を実施するなど、「食材が畑から食卓に並ぶまで」を体験していただき、農業・食の大切さを伝えることができました。参加者には、「農家を身近に感じた」「また参加したい」など好評でした。



ホ ク レ ン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信してまいりますので、ぜひお手持ちのスマートフォンやパソコン（<http://hokuren-news.jp/>）からご登録ください。



JA共済連北海道

8月4日、札幌にて「全道LA・スマサポ大会」を開催し、全道JAの中から、平成28年度普及活動で優秀成績を収めたLA38名と、スマイルサポーター11名が登壇し、表彰しました。JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



准組合員について学ぶ (全4回シリーズ)

平成26年5月、「規制改革会議」農業ワーキンググループ」が『准組合員の事業利用は、正組合員の事業利用の2分の1を越えてはならない』との意見を示し、農水省は平成33年3月末までに准組合員の事業利用量を規制するか否かの結論を出す予定にあります。

この規制が、利用者である准組合員に留まらず、地域の農業や経済への影響があることを認識したうえで、組合員の皆さん一人ひとりにお考え頂きたいと思います。

【第1回】准組合員制度の成り立ち



生徒

僕のお父さんは、一般企業のサラリーマンだから、JAの准組合員として出資・加入しているけど、准組合員ってどういう人を言うのかな？ JAは、農業者のための組織だって聞いたよ。

JAは、農業者が自ら利用するために出資して設立・運営している組織だけど、地域の皆さんも准組合員として加入して事業を利用できるんだ。ただ、役員選挙権や議決権等のJA運営に関わる権利は農業者に限定されているよ。



先生



生徒

准組合員として加入すれば、地域に住んでいる僕たちもJA事業を利用できるんだね。准組合員の仕組みは、どうして生まれたの？

昭和22年に公布された「農業協同組合法」で、組合員を『正組合員（農業者）』と『准組合員』に分けたことが、はじまりだよ。
出資をすれば誰でも組合員になれる産業組合の流れを引き継いだことが大きいよ。産業組合は農業者の組織だったけど、全国的には組合員の3分の1は地域の皆さんだったんだ。



先生



生徒

そっかあ。もともと、地域に住む人たちのための組織でもあったんだね。でも、JA以外にもお店があったんじゃないのかなあ？

昭和22年当時の農村は、商業施設や金融機関があまりなくて、JAが利用できないと生活しにくいという現実的な側面もあったんだよ。



先生



生徒

なるほどね。今も昔も、地域の生活の中心にはJAがあったんだ。僕も働くようになったら、准組合員になってJA事業を利用するよ。

金融共済課より

ATM・JAネットバンク等の
サービス一時休止について

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、ATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止日 平成29年 9月16日(土)・17日(日)

休止させていただくサービス

・JAバンクATM ・コンビニ等のATM ・ネットバンク

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い致します。

JAの自動車共済

平成29年10月より

① 長期優良契約割引の拡大

(始期日が平成29年10月1日以降
の契約に適用)

20等級を続けると...

長期優良契約割引

継続契約の等級が20等級などの所定の条件を満たす場合、従前一律2%の割引率を長期優良契約割引の適用後、翌年度以降も無事故であれば、長期優良契約割引適用期間[※]に応じて、2年目以降5年目まで毎年1%ずつ拡大します。(最大割引率6%)

20等級

共済掛金

▶ 2~6%割引

※共済期間の始期が平成29年10月以降の契約から管理する長期優良契約割引が継続して適用された期間(年数)をいいます。

② 被共済者変更時の割増・割引等級の継承範囲の拡大

(農耕作業用小型特殊自動車・農耕作業用大型特殊自動車・農業用小型特殊自動車)

農業用途に特化した車両の場合、「別居」であっても使用の実態は変わらないとみなせることから、上記の用途3車種に限り、「別居」の親族へ被共済者を変更する場合でも等級を継承する取扱いに変更します。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせ

JA十勝池田町

本

所

☎ 015-572-3131

池田支所

☎ 015-572-3132

17013746019

営農部通信

営農部
営農課

▶ 人間ドック後期取りまとめについて

9月1日付けでFAX及び郵送にてご案内しておりますが、再度広報にてご案内致します。
ご自身の健康状態を把握して頂くと共に、健康管理と病気の早期発見のため、年に1度は受診されますようお願い致します。

1. 受診対象者 正組合員または同居の家族
2. 受診料金 31,320円
3. 助成金額 下記表の通り



	農協助成	池田町助成	個人負担額
30歳未満	11,000円	なし	20,320円
30～39歳	11,000円	5,616円	14,704円
40～74歳	11,000円	～13,773円※1	6,547円
75歳以上	11,000円	～11,516円※2	8,804円

※1：40～74歳（年度内に40歳になる方を含む）の国保加入者の方は、特定健診、詳細項目検査（貧血・心電図・眼底検査）の助成（全額）があります。

※2：後期高齢者医療被保険者の方は後期高齢者健診の助成（全額）があります。

4. 実施日

男 性 (46名)				女 性 (30名)	
11月 9日 (木)	5名	12月 4日 (月)	5名	11月 8日 (水)	5名
11月14日 (火)	2名	12月 7日 (木)	5名	11月10日 (金)	5名
11月16日 (木)	5名	12月11日 (月)	5名	12月 8日 (金)	3名
11月20日 (月)	5名	H30年1月4日(木)	6名	12月13日 (水)	7名
11月27日 (月)	3名	1月9日(火)	5名	12月15日 (金)	5名
				H30年1月5日(金)	5名

5. 取りまとめ期日 平成29年9月19日 (火)

※希望日については申込順です。予定数が埋まった場合は別の実施日に農協で振り分けます。

6. 注意事項

①胃内視鏡検査・脳ドック・肺ドックにつきましては、1日に受診できる人数が決まっております。
事前の予約申込が必要です。受診希望者は、厚生病院からの案内が届き次第、**必ず受診者本人が厚生病院へ直接、電話にてお申込みください。**

※申込の際に簡単な問診があり、**農協から予約申込する事は出来ませんので、ご了承ください。**

②受診希望数が多く、キャンセル待ちの方が多数おります。受診日に受診できなくなった場合には早めに農協か厚生病院まで必ずご連絡ください。

③例年、後期期間に受診希望者が集中する傾向があります。厚生病院からの受診枠が決まっている事や、他農協の組合員さんも後期期間に集中するため、受診できない場合があります。その際は、町で11月16日(木)、17日(金)に行う巡回ドックの受診をお勧めします。

④町の助成を受けて検診を受けられた場合は、検診結果が町へも報告されますことをご承知ください。

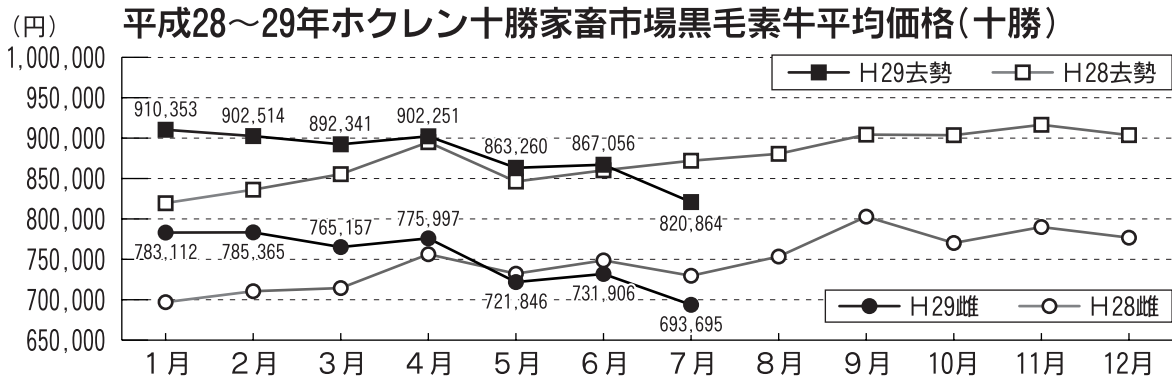
7. 申 込 先

JA十勝池田町営農課までFAX及び郵送にて送付している申込書にてお申し込み下さい。 **TEL 572-3131 FAX 572-3519**



畜産部通信

畜産部
畜産課



7月黒毛素牛出荷区分別成績

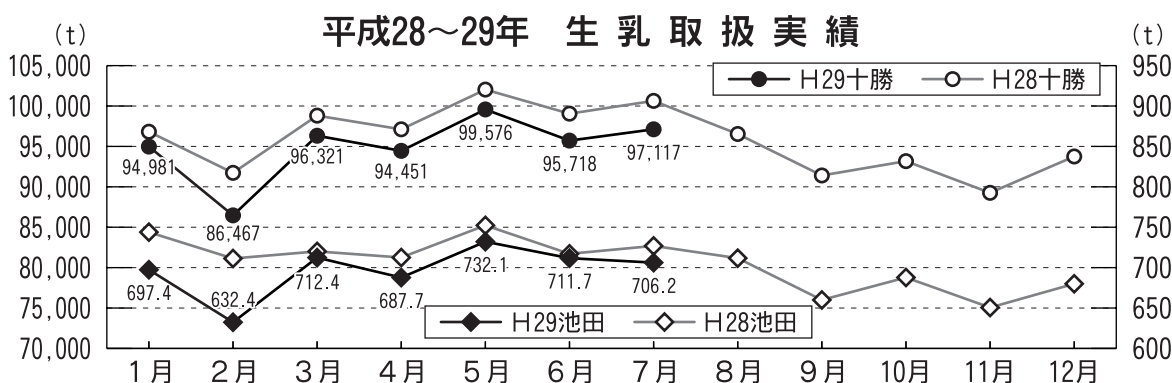
【金額(円)】

去勢	区別	取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
十勝	和牛素牛	592	820,864	
	マニュアル参加牛	337	832,229	56.9
	マニュアル認定牛	35	907,879	10.4
池田	和牛素牛	45	846,595	
	マニュアル参加牛	41	855,281	91.1
	マニュアル認定牛	5	889,272	12.2
雌	和牛素牛	424	699,420	
	マニュアル参加牛	258	693,695	60.8
	マニュアル認定牛	11	799,495	4.3
池田	和牛素牛	34	711,459	
	マニュアル参加牛	29	696,488	85.3
	マニュアル認定牛	1	893,160	3.4

7月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税抜)
8日	黒毛去勢	A-5	2,210
		A-4	1,890
		A-3	1,690
	黒毛メス	A-5	2,360
		A-4	2,030
		A-3	1,770
	F1去勢	B-3	1,020
		B-2	950
	F1メス	B-3	1,060
		B-2	780



7月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
3日	乳牛育成	372	613,382
5日	乳牛初妊	811	903,602
	乳牛経産	97	503,614

7月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	116,466
F1オス初生	300,965
F1メス初生	190,060
廃用牛	177,094



千代田地区

もり 守 うち 内 しゅん 駿 さん
(22歳)

Vol.39

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は父・薫さん、母・ゆかりさん、祖父・靖男さん、祖母・美和子さん。畑作を営む。

帯広農業高校を卒業後、本別にある農業大学校に進学したのち就農。

「サ

ッカーが好きです。」と話してくれたのは今年で就農3年目を向かえる守内駿さん。小学生の頃は、「夏はサッカー、冬はスケート・フットサルと一年中スポーツをしています。」と話す。今でも社会人チームでサッカーをしているとのこと。

就農については、「高校生の頃には学校の先生や、都会に出てアパレル関係の仕事をしてみたいという想いもあり、将来について色々悩みましたが、最終的には農家を継ぐと決意しました。」と話す。

農 業を始めて大変だったことについて聞くと、「機械作業があまり得意じゃなくて…。」と苦笑い。今年は初めて豆の播種作業を行ったとのこと、「まっすぐ走らせるのが難しかったです。頑張つて機械作業覚えます。」と意気込む。駿さんの家ではネバリスターの作付をしている。

「味も良く、反収も良く、力の入れている作物の1つ。」と話す。今年の3月に沖縄県のサンエー様で開催された、池田町農産物のPR販売に参加した駿さん。

「ネバリスターを試食したお客さんが『美味しい!』と言って買ってくれて、うれしかったです。」と笑顔を見せる。就農当時の自分と比べて変わったことを聞くと、「変わったというわけではないのですが、父と一緒に仕事をするようになって、父の偉大さを感じました。農業に対する取組や姿勢、人との関わり方などが上手だなと思いました。」目標とする人は父・薫さんと話す。

青 年部には就農1年目から入部。青年部が取り組んでいる食育事業については、「自分で育てたものを収穫して食べて美味しいと感じることは、とても良い経験になるので、すごく良い事業だと思います。」と話す。

最後に、今後の意気込みを聞くと、「これから収穫のシーズンに入るので、収穫の際には作物に傷がつかないよう丁寧に扱い、外品(扱い)を減らし収量をアップさせたいです。」と話してくれました。

食育事業で肥料播きをする子を見守る駿さん



を収穫して食べて美味しいと感じることは、とても良い経験になるので、すごく良い事業だと思います。」と話す。

最

後に、今後の意気込みを聞くと、「これから

収穫のシーズンに入るので、収穫の際には作物に傷がつかないよう丁寧に扱い、外品(扱い)を減らし収量をアップさせたいです。」と話してくれました。

理事会の動き

第 6 回

〈平成29年8月28日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 小麦の受入状況について
- (4) 農産物の生育状況について
- (5) 平成29年産買取豆類の取扱について
- (6) 固定資産の取得について
- (7) JASTEMシステム基盤更新にかかる危機管理計画書等の制定について
- (8) JA全国監査機構一般監査における事務整備を要する事項について

★ 議 案 ★

- (1) JA全国監査機構一般監査における監査結果について
- (2) 組合員の相続による出資金持分譲渡並びに新規加入承認願いについて
- (3) 共同利用施設等施設資金の借入について
- (4) 反社会的勢力等への対応規程、別表の一部改正について
- (5) コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
- (6) 秋季地区懇談会の開催について

★ 協 議 案 ★

- (1) 特定組合員の経営協議状況について
- (2) 生活事業のあり方について
- (3) 全国和牛能力共進会出場者に対するお祝い金の支出について

新入職員紹介

8月1日付けで新入職員が仲間入りしました。
皆さん、どうぞよろしくお願いします。



たけ なか かず ゆき
竹 中 和 行

所属部署 購買部 給油課

年 齢 32歳

出 身 清水町

最終学歴 道都大学

趣 味 温泉めぐり

特 技 アイスホッケー

(写真には抱負を書いて頂きました)

今月号の表紙にもなっている「小麦収穫作業」では、川合地区にて撮影をさせて頂きました。ご協力して頂いた皆様、誠にありがとうございました。また、これらの収穫作業においても、お忙しい中とは存じますが、撮影に協力して頂ければ幸いです。

これから収穫作業が本格化します。体調管理、農作業事故にはくれぐれもお気を付けください。

(杉山)

編
集
後
記